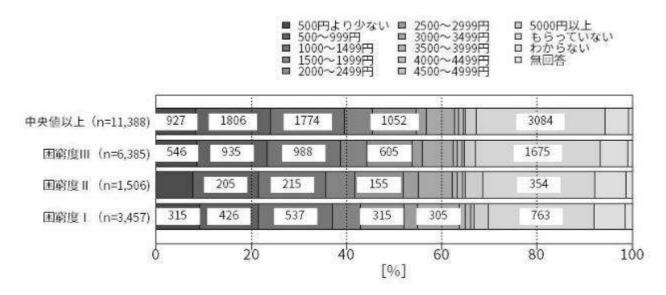
#### 困窮度別に見た、おこづかいの金額分布(子ども票 問 20(1))

#### <大阪市 24 区>



#### <大阪市西成区>

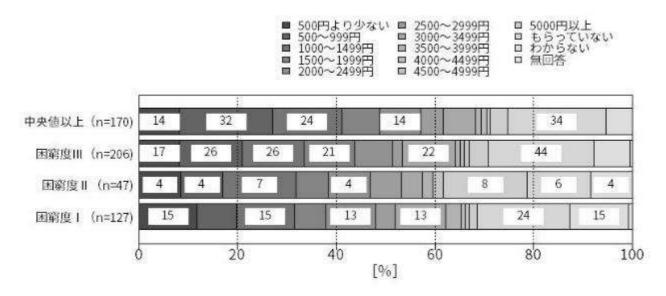
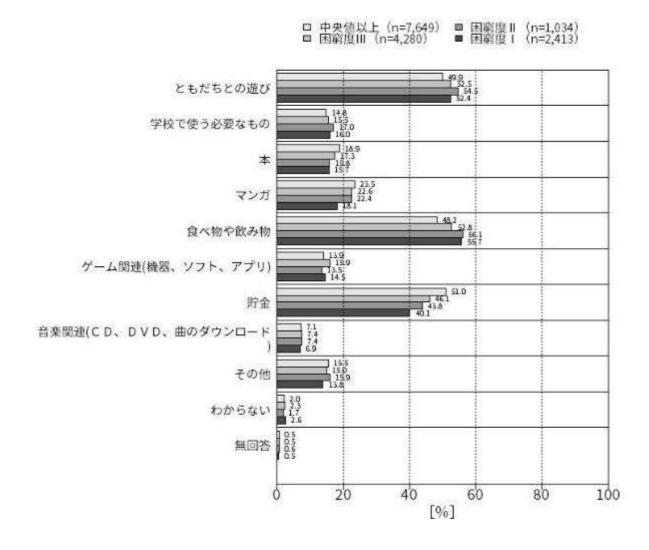


図 123. 困窮度別に見た、おこづかいの金額分布

困窮度別におこづかいの金額分布を見ると、困窮度による大きな違いは見られない。おこづかいを もらってはいるが、その使途や必要な物は親に購入してもらっているか、など詳細をみる必要があ る。

# 困窮度別に見た、おこづかいの使い方(子ども票 問20(3))

## <大阪市 24 区>



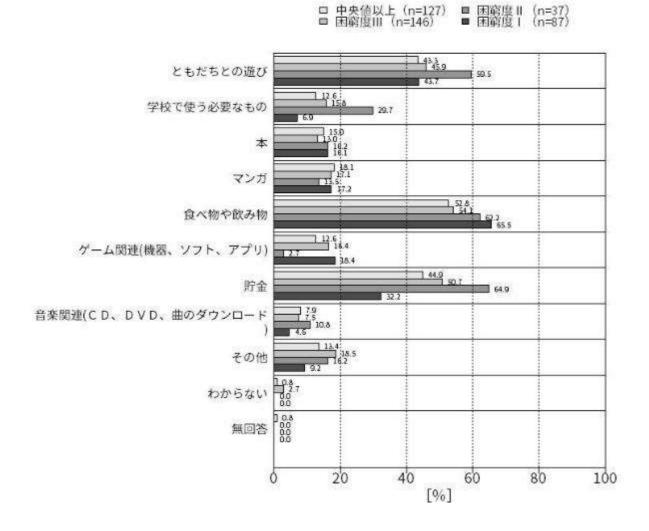


図124. 困窮度別に見た、おこづかいの使い方

困窮度別におこづかいの使い方を見ると、「貯金」が中央値以上群 44.9%であったのに対して、困窮度 I 群では 64.9%、困窮度 I 群では 32.2%であった。

#### <経済状況に関する考察>

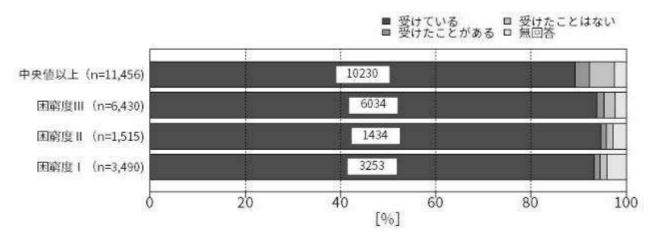
困窮度が深刻化するに従い、生活面での困難は増す傾向が見られた。困窮度 I の群では 7.1%の世帯が「電気・ガス・水道などが止められた」、7.9%の世帯が「敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した」、16.5%の世帯が「電話などの通信料の支払いが滞ったことがある」と回答している。これらの質問項目に対して、中央値以上の群において、経験があると回答した世帯は 1%未満であり、生活面での格差が明確に表れている。保険料などの滞納は、中央値以上の群では 3%未満にとどまっているのに対して、困窮度が深刻になるほど高い割合になっており、困窮度 I の群では 25%を超える世帯が該当すると回答している。「国民年金の支払いが滞ったことがある」という項目に関しては、保護者が将来においても生活困窮に陥る可能性を示唆するデータでもあるため、看過することができない。このような経済状況は、保護者の心理的な面にも反映されており、「生活の見通しが立たなくて不安になったことがある」と回答した世帯は、中央値以上の群では 12.9%であったのに対して、困窮度 I の群では 39.4%であった。なお、経済的理由で生じた生活上の困難に関する質問項目は、現代の日本社会において通常は経験しないことが想定されている。質問項目について「どれにも当てはまらない」と回答した世帯は、中央値以上では 39.4%であったのに対して、困窮度 I の群では 5.5%であった。

世帯の経済状況は、子どもの生活にも影響を与えていることが確認できる。たとえば、困窮度 I の群では「子どもを医療機関に受診させることができなかった」世帯は 5.5%で、「子どもの進路を変更した」世帯は 3.1%であった。中央値以上の群では該当すると回答した世帯は 1%前後であった。所得の差は、学習面の機会の差にも表れている。「子どもを習い事に通わすことができなかった」と「子どもを学習塾に通わすことができなかった」が、中央値以上の群ではともに 5.3%であったのに対して、困窮度 I の群では 29.9%と 31.5%とほぼ 6 倍の差が生じている。この差は、ヒューマンキャピタルの面で子どもの将来に影響を与えることが予想される。学校外で多様な「体験」をすることも、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想される。しかし、調査結果ではこの点においても格差があることが明らかになった。たとえば、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」という回答は、中央値以上の群で 10.6%であったのに対して困窮度 I の群では 42.5%であった。なお、中央値以上の群では 65.9%が「どれにもあてはまらない」、すなわち、子どもに困難なく資源や機会を提供できていると回答している。子どもに対して困難なく資源や機会が提供できている世帯も多数いるという点にも留意しておく必要があるだろう。なお、子どものために貯蓄ができている世帯は、中央値以上の群では 71.8%なのに対して、困窮度 I の群では 17.3%に過ぎない。

## (2) 家庭状況(制度等)

# 困窮度別に見た、児童手当(保護者票 問30(3)①)

## <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

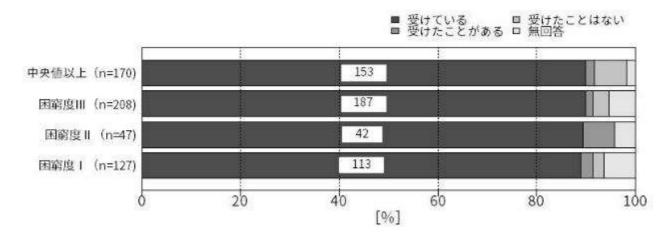
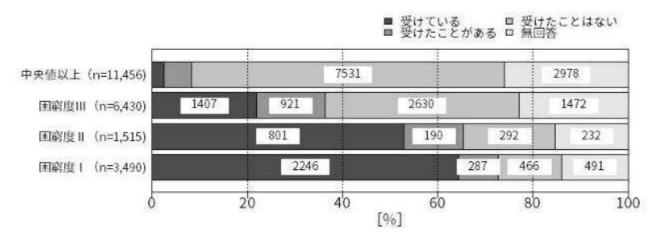


図 125. 困窮度別に見た、児童手当

児童手当は多くの世帯が受給していた。困窮度別によって「受けている」の割合に大きな差はみられない。。

# 困窮度別に見た、就学援助費(保護者票 問30(3)②)

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

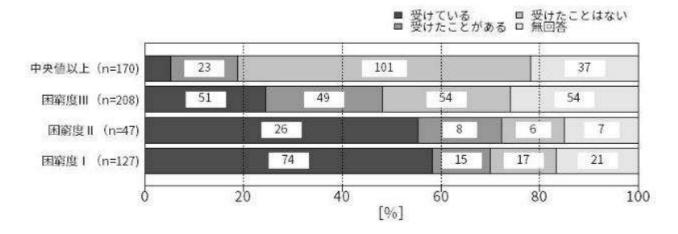
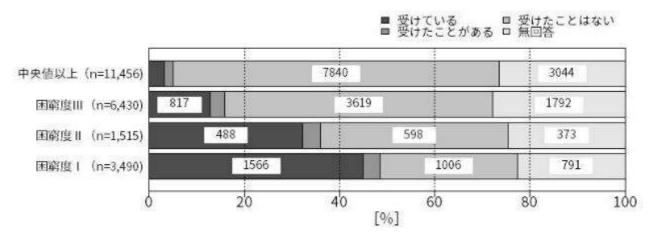


図 126. 困窮度別に見た、就学援助費

困窮度別に就学援助費の受給率を見ると、困窮度が高まるにつれ、「受けている」の割合が高くなっている。

# 困窮度別に見た、児童扶養手当(保護者票 問30(3)③)

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

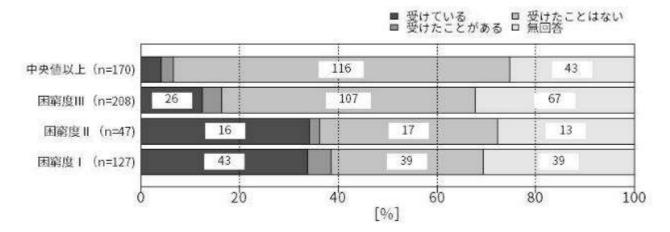
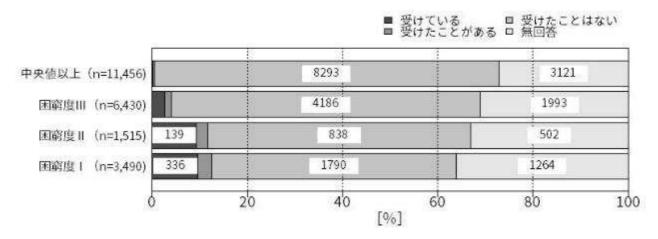


図 127. 困窮度別に見た、児童扶養手当

困窮度別に児童扶養手当の受給率を見ると、困窮度が高まるにつれ、「受けている」の割合が高くなっている。

# 困窮度別に見た、生活保護 (保護者票 問30(3)⑤)

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

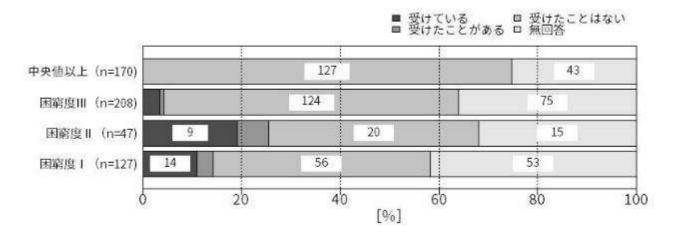


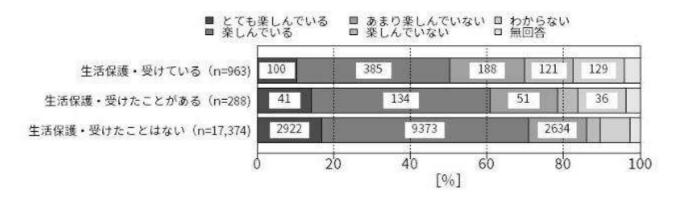
図 128. 困窮度別に見た、生活保護

困窮度別に生活保護の受給率を見ると、困窮度 I 群においては「受けている」と回答した人は 11.0% であった。困窮度が高まるにつれ、「受けている」の割合が高くなっている。

生活保護の受給別に見た、心の状態(生活を楽しんでいるか)

(保護者票 問 30(3)⑤ × 保護者票 問 25(1))

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

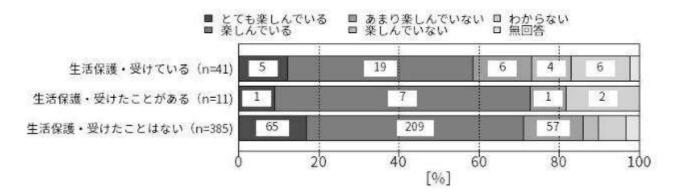


図 129. 生活保護の受給別に見た、心の状態(生活を楽しんでいるか)

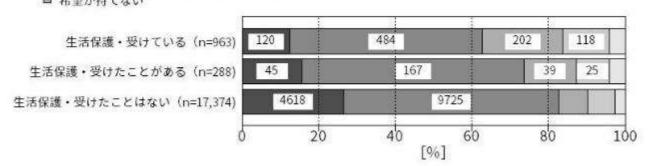
生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、生活を「楽しんでいない」という回答が 9.8%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では該当なし、生活保護を受けたことがない世帯では 3.9%であった。

# 生活保護の受給別に見た、心の状態(将来への希望)

(保護者票 問 30(3)⑤ × 保護者票 問 25(2))

#### <大阪市 24 区>

■ 希望が持てる □ わからない □ お登が持てるときもあれば、持てないときもある □ 無回答 □ 希望が持てない



# <大阪市西成区>

■ 希望が持てる ■ 希望が持てるときもあれば、持てないときもある □ 無回答 ■ 希望が持てない

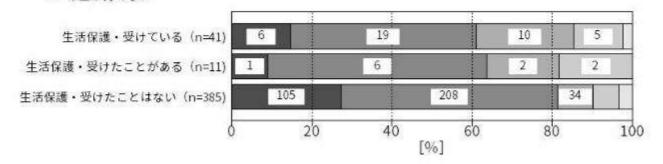


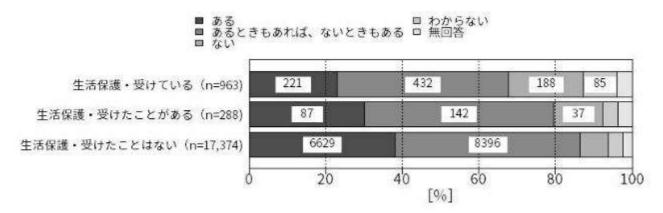
図 130. 生活保護の受給別に見た、心の状態(将来への希望)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、将来に対して「希望が持てない」という回答が24.4%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では18.2%、生活保護を受けたことがない世帯では8.8%であった。

#### 生活保護の受給別に見た、心の状態(ストレス発散できるもの)

(保護者票 問 30(3)⑤ × 保護者票 問 25(3))

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

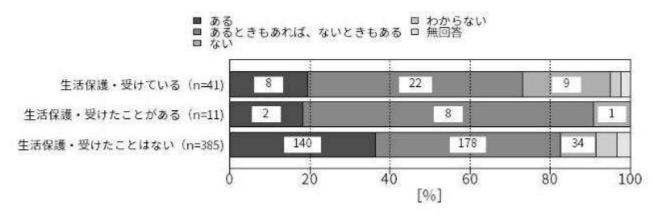


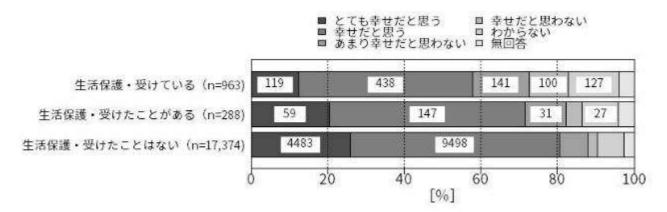
図 131. 生活保護の受給別に見た、心の状態 (ストレス発散できるもの)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、ストレスを発散できるものが「ない」という回答が22.0 に対し、生活保護を受けたことがある世帯では9.1%、生活保護を受けたことがない世帯では8.8%であった。

#### 生活保護の受給別に見た、心の状態(幸せだと思うか)

(保護者票 問 30(3)⑤ × 保護者票 問 25(4))

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

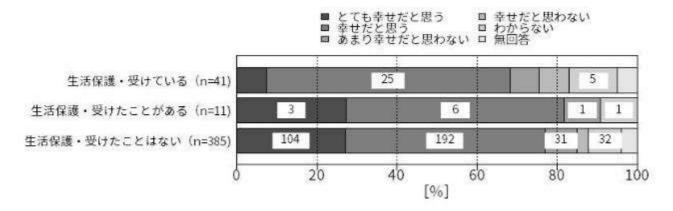
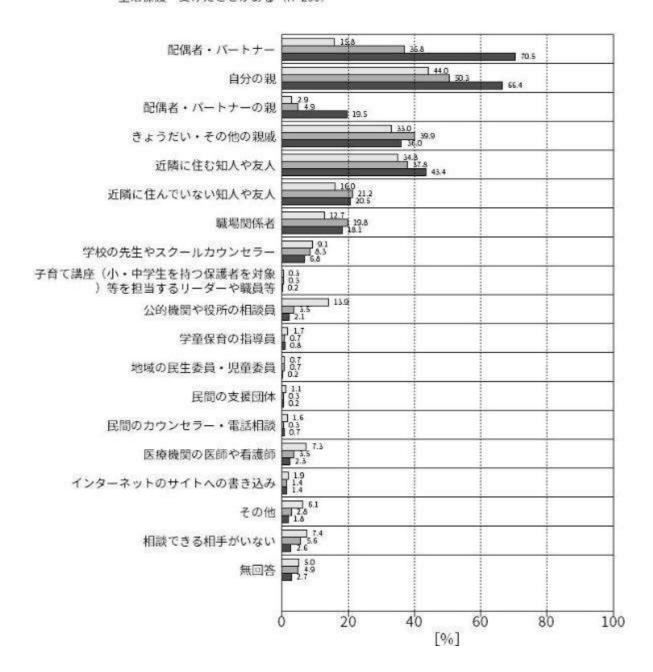


図 132. 生活保護の受給別に見た、心の状態(幸せだと思うか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、「幸せだと思わない」という回答が7.3%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では該当なし、生活保護を受けたことがない世帯では2.9%であった。

ロ 生活保護・受けている (n=963) ロ 生活保護・受けたことがある (n=288) ■ 生活保護・受けたことはない (n=17,374)



□ 生活保護・受けている (n=41) □ 生活保護・受けたことがある (n=11) ■ 生活保護・受けたことはない (n=385)

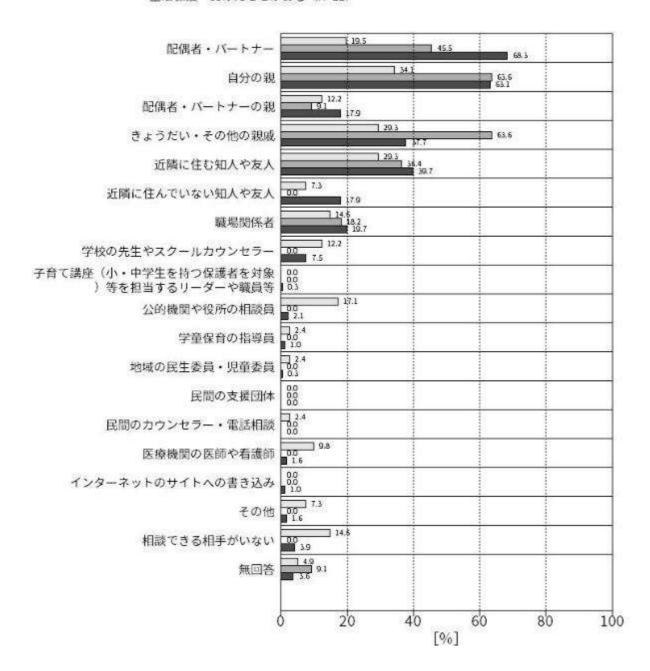
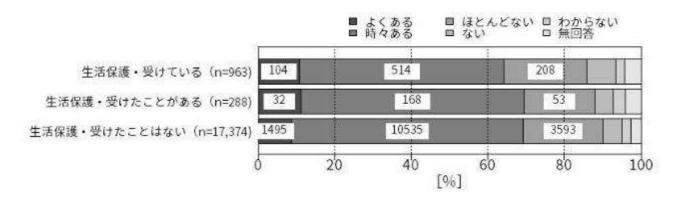


図 133. 生活保護の受給別に見た、困ったときの相談先

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、「相談できる相手がいない」という回答が14.6%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では該当なし、生活保護を受けたことがない世帯では3.9%であった。

生活保護の受給別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと (保護者票 問30(3)⑤ × 保護者票 問27)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

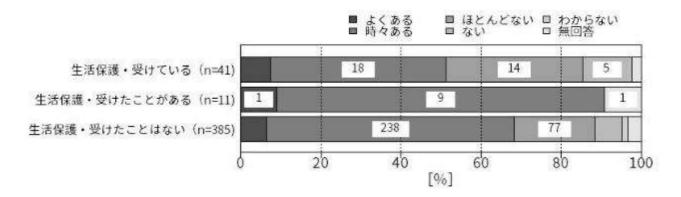
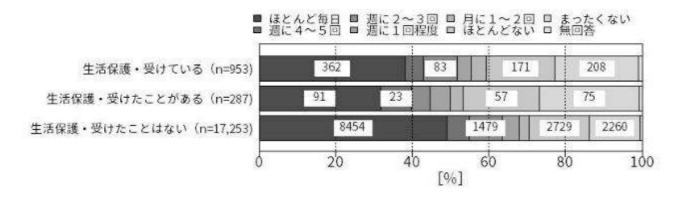


図 134. 生活保護の受給別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことが「よくある」と回答した人が 7.3%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 9.1%、生活保護を受けたことがない世帯では 6.5%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり(おうちの大人と朝食を食べるか) (保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10①)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

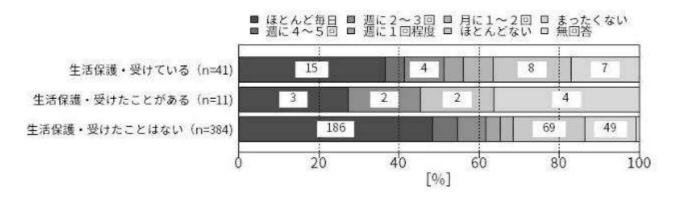
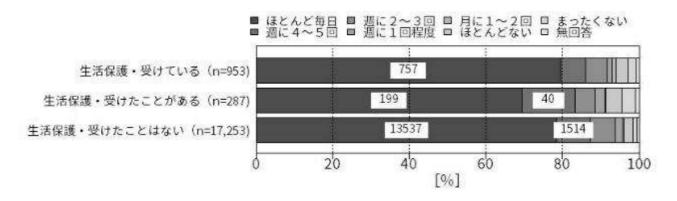


図 135. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人と朝食を食べるか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べることが「まったくない」と回答した子どもが17.1%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では36.4%、生活保護を受けたことがない世帯では12.8%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人と夕食を食べるか) (保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10②)

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

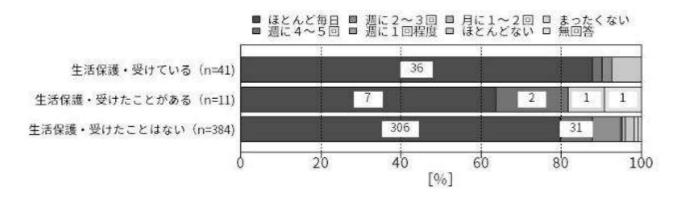
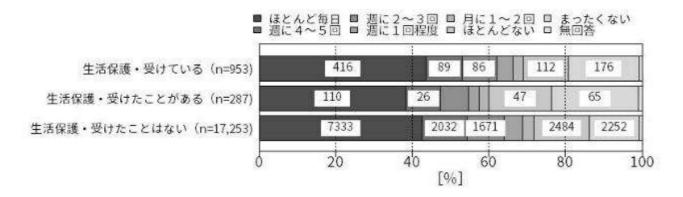


図 136. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人と夕食を食べるか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べることが「まったくない」と回答した子どもが該当なしであるのに対し、生活保護を受けたことがある世帯では 9.1%、生活保護を受けたことがない世帯では 1.0%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり(おうちの大人に朝、起こされるか) (保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10(3))

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

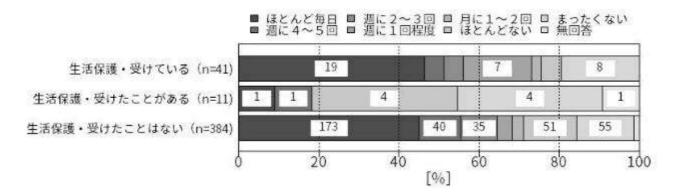
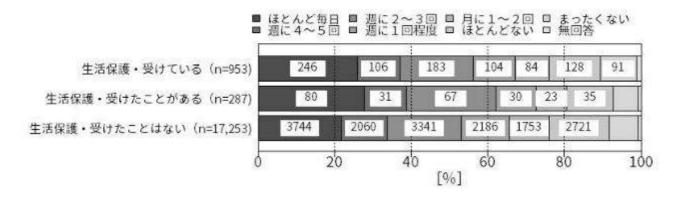


図 137. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人に朝、起こされるか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人に朝起こしてもらうことが「ほとんど毎日」と回答した子どもが 46.3%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 9.1%、生活保護を受けたことがない世帯では 45.1%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (家の手伝いをするか) (保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10④)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

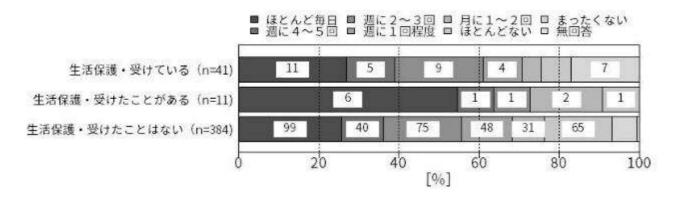
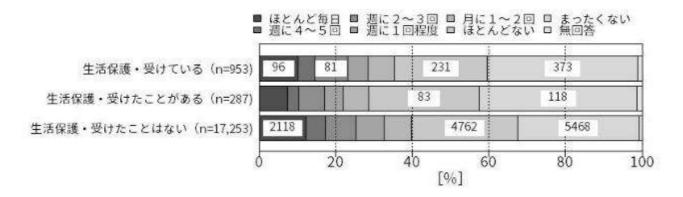


図 138. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (家の手伝いをするか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの手伝いをすることが「まったくない」と回答した子どもが 17.1%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では該当なし、生活保護を受けたことがない世帯では 6.3%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり(おうちの大人に宿題をみてもらうか) (保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10⑤)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

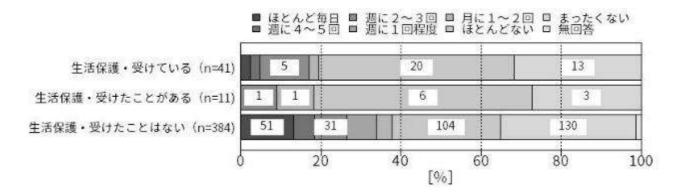
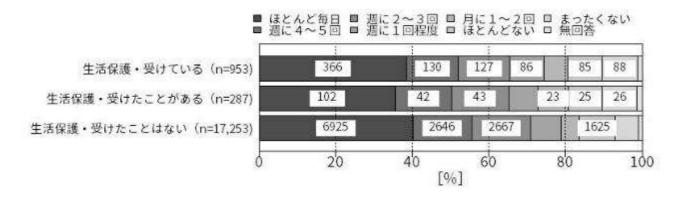


図 139. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人に宿題をみてもらうか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらうことが「まったくない」と回答した子どもが31.7%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では27.3%、生活保護を受けたことがない世帯では33.9%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり(おうちの大人と学校の話をするか) (保護者票 問30(3)⑤ × 子ども票 問10⑥)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

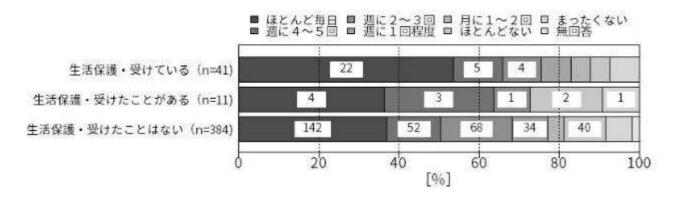
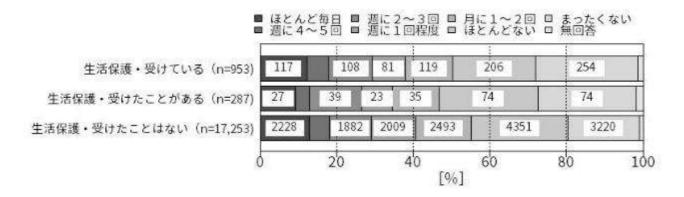


図 140. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人と学校の話をするか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すことがが「まったくない」と回答した子どもが 7.3%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 9.1%、生活保護を受けたことがない世帯では 6.5%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり(おうちの大人と遊んだり、体を動かすか) (保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10⑦)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

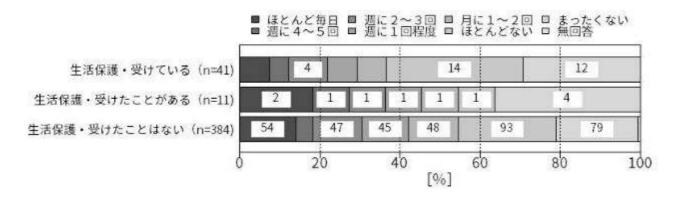
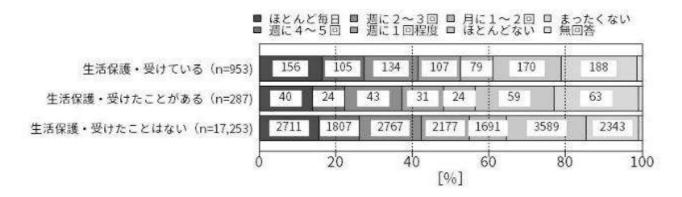


図 141. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人と遊んだり、体を動かすか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりすることが「まったくない」と回答した子どもが 29.3%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 36.4%、生活保護を受けたことがない世帯では 20.6%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり(おうちの大人と社会のできごとを話すか) (保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10®)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

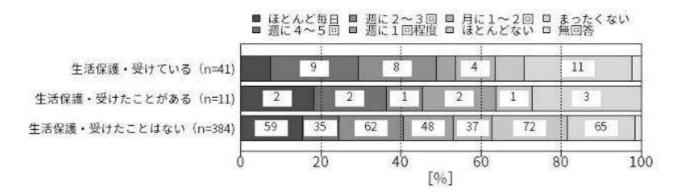
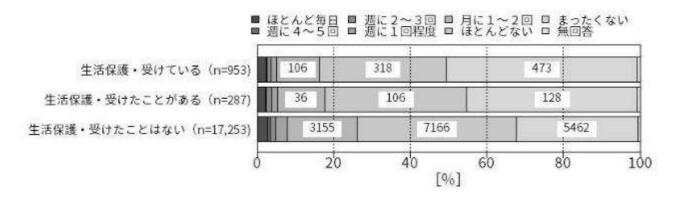


図 142. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人と社会のできごとを話すか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話し合うことが「まったくない」と回答した子どもが 26.8%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 27.3%、生活保護を受けたことがない世帯では 16.9%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり(おうちの大人と文化活動をするか) (保護者票 問30(3)⑤ × 子ども票 問10⑨)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

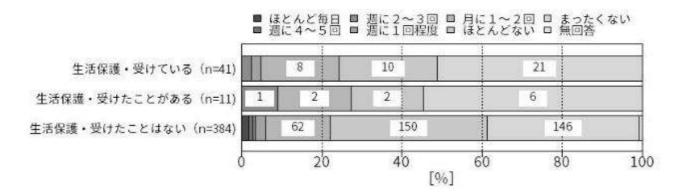
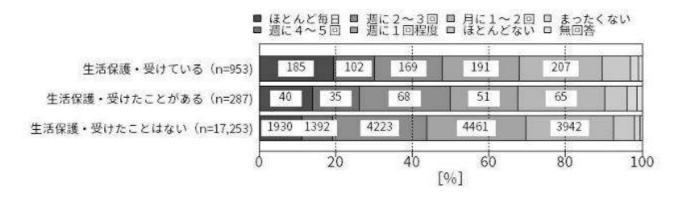


図 143. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人と文化活動をするか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と文化活動をすることが「まったくない」と回答した子どもが51.2%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では54.5%、生活保護を受けたことがない世帯では38.0%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり(おうちの大人と一緒に外出するか) (保護者票 問30(3)⑤ × 子ども票 問10⑩)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

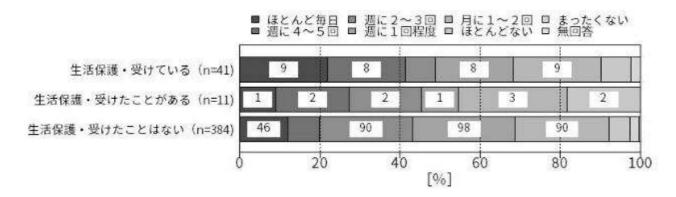
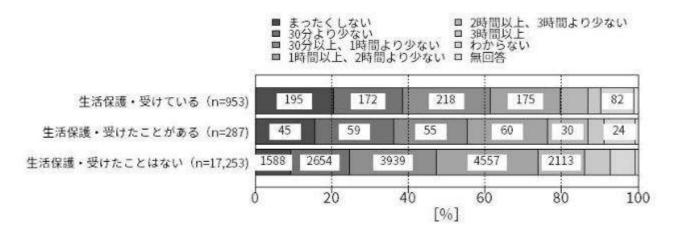


図 144. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり (おうちの大人と一緒に外出するか)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と一緒に外出することが「まったくない」と回答した子どもが 2.4%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では該当なし、生活保護を受けたことがない世帯では 2.3%であった。



# <大阪市西成区>

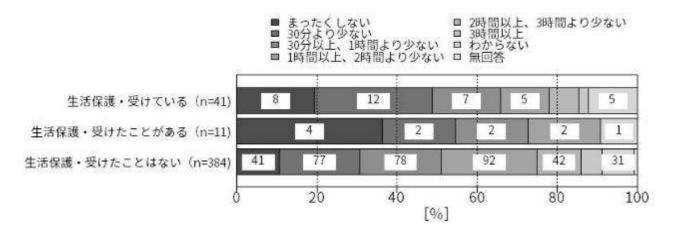
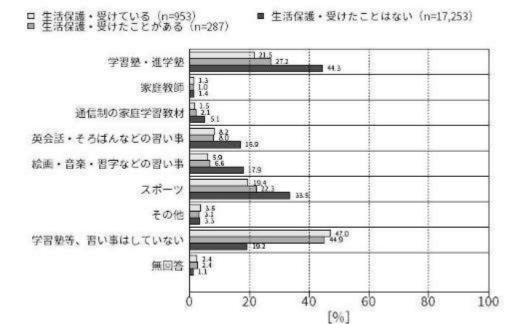


図 145. 生活保護の受給別に見た、授業以外の勉強時間

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、授業時間以外に勉強を「まったくしない」と回答した子どもが 19.5%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 36.4%、生活保護を受けたことがない世帯では 10.7%であった。



#### <大阪市西成区>

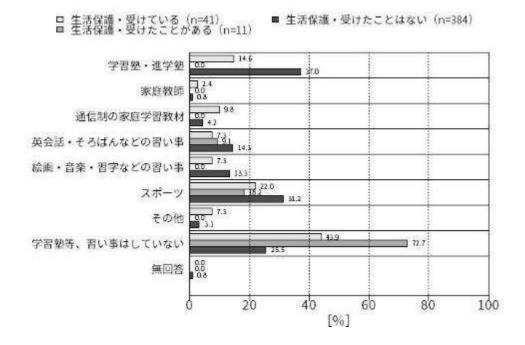
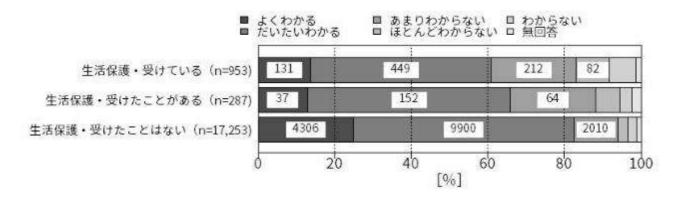


図 146. 生活保護の受給別に見た、学習塾等の利用状況

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、「学習塾等、習い事はしていない」と回答した子どもが 43.9%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 72.7%、生活保護を受けたことがない世帯では 25.5%であった。



## <大阪市西成区>

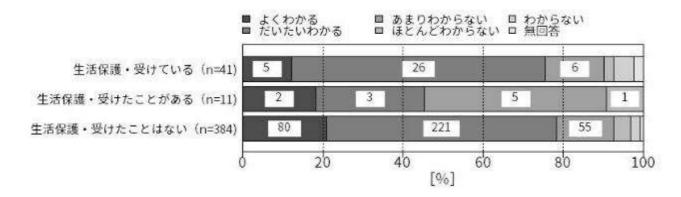


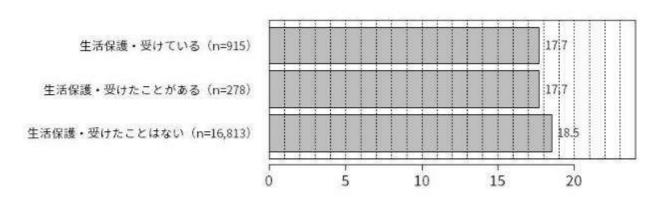
図 147. 生活保護の受給別に見た、学習理解度

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、学校の勉強を「よくわかる」と回答した子どもが 12.2%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 18.2%、生活保護を受けたことがない世帯では 20.8%であった。

# 生活保護の受給別に見た、子ども自己効力感 (セルフ・エフィカシー) (保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 26(1)~(6))

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人は信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」「将来、働きたいと思う」の 6 項目について、それぞれ 4 段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感(セルフ・エフィカシー)が高いことを表す。

#### <大阪市 24 区>



#### <大阪市西成区>

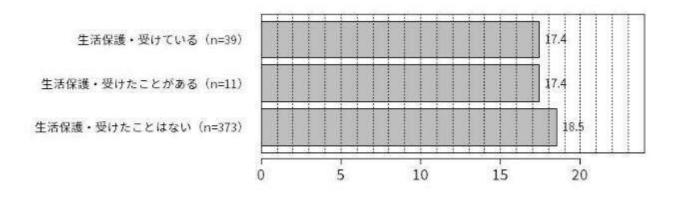
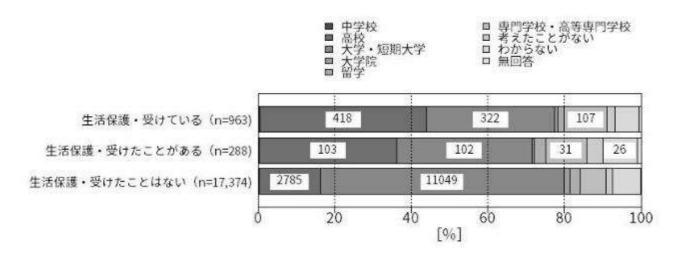


図 148. 生活保護の受給別に見た、子ども自己効力感(セルフ・エフィカシー)

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)の平均点が17.4点に対し、生活保護を受けたことがない世帯では18.5点であった。

# 生活保護の受給別に見た、子どもに希望する進学先 (保護者票 問30(3)⑤ × 保護者票 問15)

<大阪市 24 区>



#### <大阪市西成区>

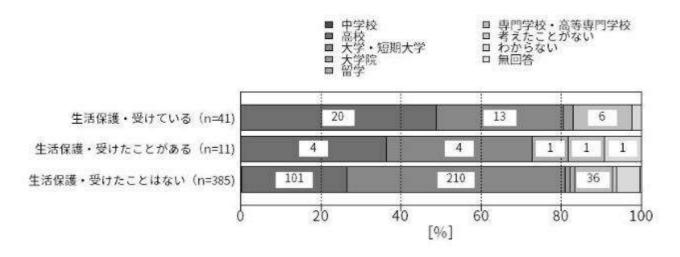
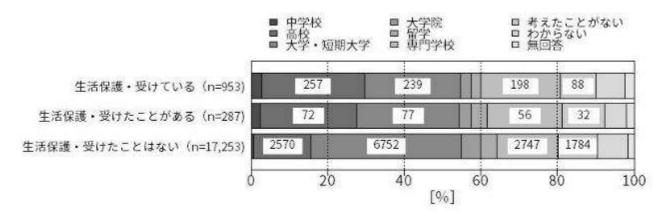


図 149. 生活保護の受給別に見た、子どもに希望する進学先

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、子どもに希望する進学先を「大学・短期大学」と回答した保護者が 31.7%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 36.4%、生活保護を受けたことがない世帯では 54.5%であった。



## <大阪市西成区>

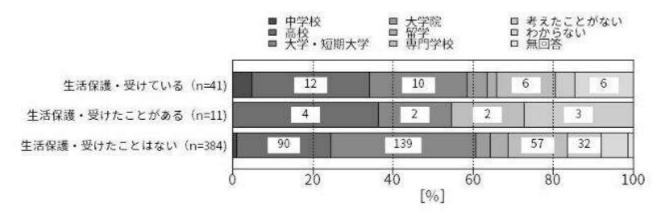
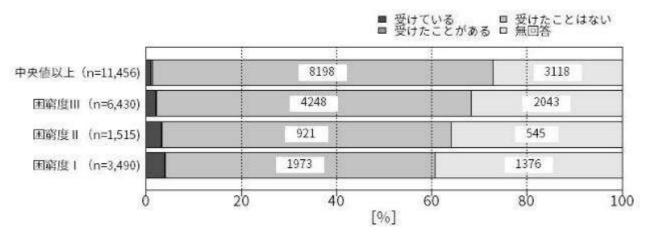


図 150. 生活保護の受給別に見た、希望する進学先

生活保護を受けたことがある世帯が少数であったため傾向を述べることはできない。生活保護を受けている世帯では、希望する進学先を「大学・短期大学」と回答した子どもが 24.4%に対し、生活保護を受けたことがある世帯では 18.2%、生活保護を受けたことがない世帯では 36.2%であった。

# 困窮度別に見た、公的年金(遺族年金、障がい年金)(保護者票 問30(3)⑦)

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

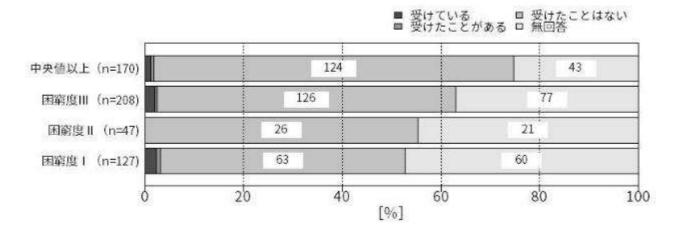
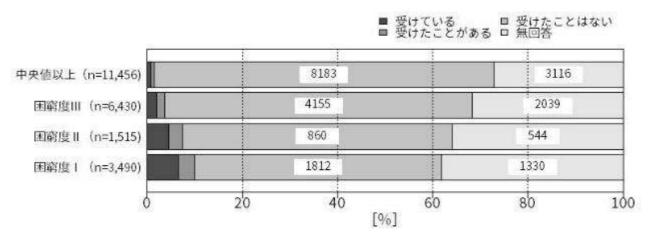


図 151. 困窮度別に見た、公的年金(遺族年金、障がい年金)

困窮度別に遺族年金や障がい年金といった公的年金の受給率を見ると、困窮度 I 群においては「受けている」と回答した人は 2.4%であった。

# 困窮度別に見た、養育費(保護者票 問30(3)9)

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

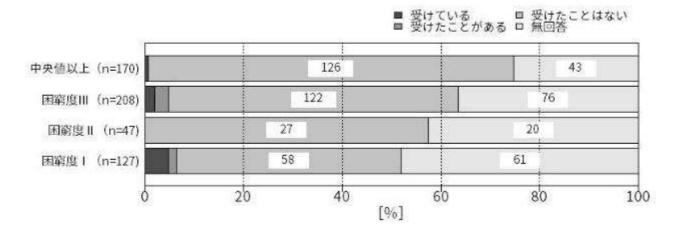


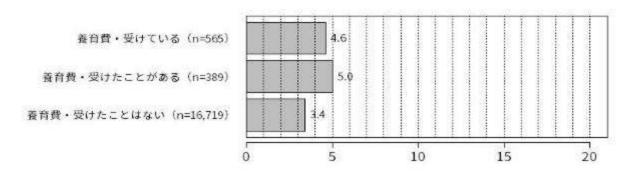
図 152. 困窮度別に見た、養育費

困窮度別に養育費の受給率を見ると、困窮度 I 群においては「受けている」と回答した人は 4.7%であった。

## 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

(保護者票 問 30(3) ⑨ × 保護者票 問 7)

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

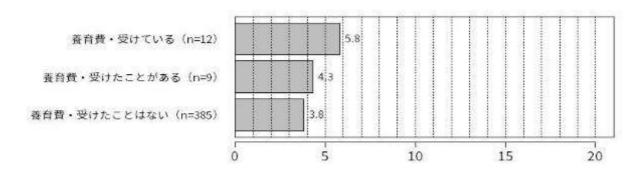


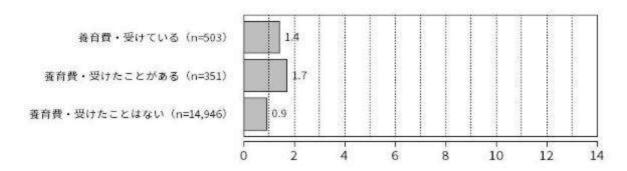
図 153. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

養育費を受けている世帯、養育費を受けたことがある世帯ともに少数であったため傾向を述べることはできない。養育費を受けている・受けたことがある世帯では、経済的な理由による経験の該当数平均はそれぞれ 5.8 個、4.3 個である。

## 養育費の受給別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

(保護者票 問 30(3)9 × 保護者票 問 13)

#### <大阪市 24 区>



# <大阪市西成区>

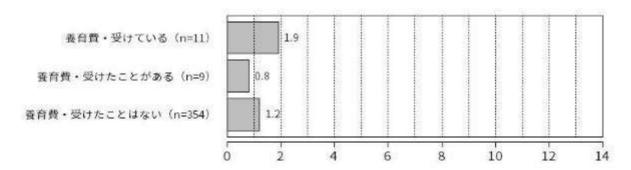
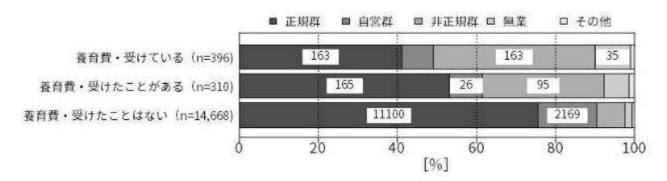


図 154. 養育費の受給別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

養育費を受けている世帯、養育費を受けたことがある世帯ともに少数であったため傾向を述べることはできない。養育費を受けている世帯では、経済的な理由による経験の該当数平均は1.9個である。

# 養育費の受給別に見た、就労状況(保護者票 問 30(3) ⑨ × 保護者票 就労状況)

#### <大阪市 24 区>



## <大阪市西成区>

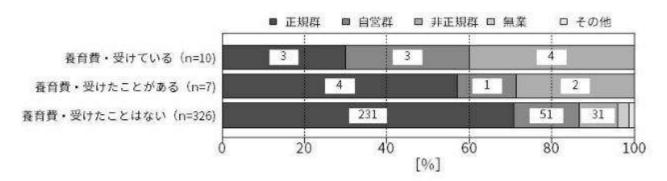


図 155. 養育費の受給別に見た、就労状況

養育費を受けている世帯、養育費を受けたことがある世帯ともに少数であったため傾向を述べることはできない。養育費を受けている世帯では、「非正規群」が 40%、養育費を受けたことがある世帯ではそれぞれ 28.6%、養育費を受けたことがない世帯では 9.5%であった。